

実施報告書

令和 6年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村名	武蔵村山市
学校名	武蔵村山市立第十小学校
協議会名	武蔵村山市立第十小学校グリーンサポーター

1 事業目的

校庭芝生を活用して、学校を拠点とした地域コミュニティの活性化を図る。

2 主な取組と成果

今年度も、芝生を活用した学校行事や地域向け行事を開催し、学校が地域コミュニティの中心となることができた。

芝生の整備作業については、グリーンサポーターや用務主事に加え、環境委員会の作業が定着している。また、芝生整備作業を通して、児童の美化活動（植栽など）の意識も高まってきており、新たに、地域企業の支援を受けた緑化事業に取り組むことができた。



3 取組内容

- ①消防写生会（4月23日）
消防車を校庭に招き、児童は周辺の芝生から絵を描くことができた。
- ②防災キャンプ（5月24日・25日）
5年生を対象に、災害時の学校避難所開設について学んだ。簡易トイレの設置などを芝生近辺で体験した。
- ③アウトドアクラブによるキャンプ（6月21日・22日、11月29日・30日）
芝生エリアのおかげで、アウトドアクラブの宿泊体験が定着してきている。芝生にテントを張り、焚火を囲みながら、地域協力者とともに一晩を過ごした。
- ④天体観望会（11月16日）
芝生の上に天体望遠鏡を設置し、保護者・地域の協力者とともに望遠鏡で遠くの星々を観察したり、芝生に腰を下ろして美しく広がる星空を味わったりした。
- ⑤環境委員会による芝生作業（年間）
環境委員会が、年間を通して芝生作業の一部を担っている。芝刈りや冬芝の種まきなど、実際に作業を行うことで、芝生を大切に育てていこうとする心が養われた。



4 今後について

今後については、以下の点を模索していく。

- ・芝生を活用した新たな行事の創出
- ・芝生の整備、活用に関するコミュニティの拡大

上記2点の取り組みを複合的に進め、芝生にかかわる人とアイデアを拡充しながら、学校が地域活性の拠点となるようにしていく。